

ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプランの進捗状況について

取組み	内容	基本目標との関連				R7の取組み	課題	R8以降の取組み
		ともに育つ 地域をつくる	みんなで育つ	学び合う風土をつくる	個をみがく			
5つの力を育む魅力ある保育環境づくり	○外部アドバイザーの助言等を活用し、保育室や園庭等のよりよい環境づくりに取り組む施設に対して支援を行います。 ○保護者や地域の協力も得ながら保育環境づくりを進めることにより、地域共生による子育て支援を促進するとともに、保護者の子育て力の向上を図ります。 ○保育環境づくりを通じて、職員間のコミュニケーションを促すとともに、子どもを主体とした保育・教育を語り合う気運を醸成します。	○	○	○	○	・今年度は補助事業に16施設（公立5施設、私立11施設）が参加。外部からアドバイザーを招へいし、各施設内で研修、ワークショップを実施。 ・全体研修では内容を動画でも配信。事業参加施設以外にも内容を周知。各ワークショップ等では他施設からの参加受け入れも実施、事業の横展開を図った。	・事業の参加施設が固定化している。 ・事業の意義や制度について、施設によって理解度に差がある。	・公立施設については、全体研修への参加を強く促進できるよう、具体策を講じる。 ・各施設の研修、ワークショップについては引き続き、公開で開催し、他施設職員間の交流や情報提供を行う。
自然保育の推進	○園内だけではなく、地域全体を教育・保育の実践の場として捉え、地域との協働も視野に入れ、本市ならではの豊かな自然を活用した保育を推進します。 ○広島県の「ひろしま自然保育認証制度」も活用し、自然保育の取組みが広がるよう啓発を行います。	○	○			・新たに公立2施設（上黒瀬保育所・認定こども園たけに）がひろしま自然保育認証制度による認証を受けた。 ・県自然保育推進アドバイザーの活用事例、内容等を全体場で共有した。	・民間施設への周知が不足。（自然保育を取り入れているが、自然保育認証制度への申請に至っていない施設がある）	・自治体フォーラムが、広島で開催される予定のため、参加周知を行う。 ・自然保育認証制度による保育の内容や効果を共有する機会を新たに作る。
施設間交流の推進	○公開保育を通して、施設での教育・保育実践のレベルアップを図ります。 ○保育参観を通して、保育施設間の交流を促進し、好事例の横展開を図ります。	○	○			・施設間交流について、32施設で計89回行った。（報告書について現在、集約中） ・公開保育（みどりがおかようちえん）を市の後援のもとで実施。幅広く受け入れを行い、保育への参加、交流を促進した。	・施設間交流、公開保育の効果を理解し、積極的に交流等を計画する施設と、必要性を感じていない施設との差が広がっている。	・公立施設の公開保育を積極的に実施することにより、民間施設からの参加受け入れを強化し、つながりの場の提供や公開保育への実施に繋げる。
相談体制の充実	○保育ソーシャルワーカー等を派遣し、特別な支援が必要な児童やその保護者への対応について、保育士等からの相談に応じます。	○				・保育ソーシャルワーカーについて、今年度は市内保育施設において、28施設、計60回の派遣を行い、各種相談に対応した。 ・乳幼児教育アドバイザーの派遣を今年度新たに追加。市内保育施設において、25施設、計101回の派遣を行い、各種相談に対応した。 ・保育支援アドバイザーを派遣。市内保育施設に66施設、計132回の派遣を行い、各種相談に対応した。	・今年度から各種「アドバイザー制度」を充実させたことに伴い、施設側の選択肢が複線化している。制度の区分の明確化、適切な情報発信が必要。	・制度の区分を明確化、施設側のニーズと派遣内容が適切にマッチングできるよう、運用の見直しを行う。

ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプランの進捗状況について

取組み	内容	基本目標との関連				R7の取組み	課題	R8以降の取組み
		ともに育つ地域をつくる	みんなで育つ	学び合う風土をつくる	個をみがく			
保育コーディネーターの育成・連携	○専門機関や外部との連携において重要な役割を果たす保育コーディネーターを育成するとともに、保育コーディネーター同士のつながり・連携を促進します。 ○園内での学び合いの風土づくりや職員の連携など、保育コーディネーター同士のつながり・連携を促進します。	○		○	○	・保育コーディネーター養成講座、フォローアップ研修を各3回開催。 ・保育コーディネーターの役割について周知を行うとともに、養成講座の内容を保育課内で再整理。 ・他施設見学（公開保育）を含めた実践的な内容とすることで、次年度から制度的に取り組めるよう、準備を進めた。	・保育コーディネーターの意義、役割の周知が不足している。 ・コーディネーターの様々な役割に十分に対応している施設と力不足の施設の差がある。	・保育コーディネーターの役割が適切に発揮されるよう、養成講座を受講する為の要件をしっかりと周知する。また、講座の内容もより実践的な内容に向上させる。 ・【仮称】東広島巡回支援保育コーディネーター（案）をモデル的に始動する。
ニーズに応じた研修の充実	○キャリアアップ研修の充実により、専門性の向上と、職員の処遇改善につなげます。 ○各施設が外部から講師を招いて行う施設研修を推進します。 ○大学研究機関の専門家がアドバイザーとして施設を巡回し、指導・助言を行う体制を構築します。				○	・キャリアアップ研修（4分野）、子育てサポート研修（7分野）を開催した。 ・「乳幼児教育スーパーバイザー」の派遣制度を追加。10施設に対してアドバイザー10名を派遣。大学等専門家を派遣することで各種アドバイザー等の人材育成等を行った。	・受け入れ施設において、研修に参加できる体制（人員等）が整っている施設とそうでない施設の差がある。 ・現地に出る研修に参加できるのは正規職員が優先されるため、パート職員が他人事になり易い。	・子育てサポート研修については研修方法を見直し、「対面」「ZOOM」「オンデマンド」の複数で開催し、非正規職員も受講する機会を提供する。 ・キャリアアップ研修は、往還型研修を取り入れ、実践に繋がるようにする。
施設長研修	○対話による語り合いによってお互いを高める組織文化や、マネジメントの重要性について、施設長研修を実施し、組織としての力を高めていきます。 ○施設長同士が情報共有などの交流が持てる場を確保します。			○		・施設長に対し、下記のテーマについて、研修を開催した。 ①保育の質と乳幼児の育ちに関する評価研究 ②「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」の取組み、保育コーディネーターの役割 ③「コンプライアンス」「虐待防止」の課題理解 ④「保育の質向上に向けたマネジメント、チームづくり」	・市内保育の施設長が集まる機会は提供できているが、座学メインで情報共有、情報交換する内容ではないため、それぞれの価値観での学びにとどまっている。	・先進事例から学ぶ機会を提供し、市内保育施設の施設長がグループワーク、語り合い等を通して学び合う機会を提供する。
幼保小の連携	○保育所等と小学校の職員が相互に施設を訪問し、公開保育・授業への相互参加や、合同研修等を通して意見交換や連携を促進します。 ○合同研究を通して、子どもの発達と学びの連続性について共通の認識を持ち、円滑な接続を図ります。	○			○	・黒瀬中学校区幼保小連携モデル地域（2年目）として引き続き、交流やカリキュラムのすり合わせを行った。 ・幼保小担当者合同研修会を2回、特設講座1回行った。 特設講座では、小学校の半数以上の教諭、保育施設の施設長・担当者を含む職員にオンラインで東広島市の取組み等を周知した。	・モデル地域での取り組みを、地域に合った内容で展開される必要がある。 ・幼保小連携について、保護者から不安な声がある（さらなる保護者理解が必要）。	・保護者向けリーフレット配布。 ・リーフレットを活用し、『安心して入学を迎えるために』をテーマとした、保護者と保育者、教諭が一緒に受講できる研修を開催する。 ・市内全小学校を訪問する。（顔の見える関係づくり、幼保小連携に関する現状や進捗状況、課題等の整理）

ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプランの進捗状況について

取組み	内容	基本目標との関連				R7の取組み	課題	R8以降の取組み
		ともに育つ 地域をつくる	みんなで育つ	学び合う風 土をつくる	個をみがく			
積極的な 情報発信	○各施設が自らの「よさ」を発見し、ホームページ等を通じて積極的に情報発信していきます。 ○情報発信を行うことにより、より良い教育・保育や子育ての在り方を保護者や地域と共に考える機会とし、保護者の子育て力向上や、地域共生による子育て支援をします。	○	○	○	○	・各施設のホームページ更新 ・公立施設では昨年度より、新たな保育支援システムを導入（全面移行）。保育の様子や各種情報を電子化し、保護者等へ積極的に情報発信した。	・保護者への情報発信は市全体を通して、充実してきているが、ホームページ等を通じた地域への情報発信が不十分な施設がある。	・情報発信の手法やホームページの掲載内容について、好事例を示し、横展開させる。
取組み内 容の評価	○保護者アンケートを実施し、その結果を公表することにより教育・保育の見える化を推進します。 ○職員や外部アドバイザー等による評価を行い、取組み内容の改善を図っていきます。	○	○	○	○	・市内保育施設に対して「保護者アンケート」を今年1月に実施。（計66施設） ・乳幼児の育ちに関する評価（対象：年長児）について、市内保育施設に実施。（今年度より） ・「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」の効果検証等にかかる保育者アンケート」を実施。（今年度より）	・施設により、アンケートの回収率に偏りがある。	・必要に応じて、アンケートの意義等について丁寧に説明する。実施時期についても適切な時期に実施する。